

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童通所支援センター クオレ月寒
------	------------------

公表日 2025年1月20日  
利用児童数 5人

回収数 2

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1			1		バリアフリーではありませんが、手すりや柵、折り畳み椅子を設置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
保護者への説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1			1		外部と交流の機会は設けていません。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			1	1		都度、何か不安があれば相談を受けており、支援につながる提案をしております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1		1			必要と思った時に声をかけさせていただいています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1	1		現在のところ、保護者会等の活動やきょうだい同士の交流の機会が設けていません。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1	1				クオレだより、Instagramで活動内容や情報を発信しています。自己評価についてはホームページに掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			1		防災についてわかり易く認識できるように紙芝居等で説明し、定期的に訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1			1		事故や怪我があった際は、お子様の状態や安全を第一に速やかに正しく伝達し対応していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1	1				安心して楽しく通えるよう日々工夫をしています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	2					のびのび楽しく安心できる場で行われるよう努めています。

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童通所支援センター クオレ月寒		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 25日		~ 2024年 11月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数) 2	
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日		~ 2024年 12月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答者数) 7	
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活スキルの向上	遊び感覚で楽しみながらお手伝いが出来るようにしています。おやつを食べる前にテーブルを拭くことやおやつを食べた後に自分の食器を台所までさげる等小さなことから身に付けるようにしています。	褒められたり喜ばれると嬉しくなり更に何かを手伝いたいという気持ちが出たり、友だちがやっているのを見て、自分もやりたいという気持ちが芽生えています。
2	年齢や個々に合わせた課題の提供	それぞれのお子さんができることややってみたいことが違うので、個々に合わせた課題や製作を準備しています。	
3	挨拶ができる	「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」が自然に出てくるよう心がけています。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動時間	活動時間が平日の午前中のみということで、幼稚園終わりの午後の受け入れができません。	短い時間の中で集中できる取り組みを行うようにしています。
2			
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童通所支援センタークオレ月寒					公表日	令和7年1月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		活動により、パーティション等を用いて空間を仕切っています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		基準より多く配置して、個別に対応できるようにしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		活動内容によって、必要のない情報が視界に入らないような空間作りをしています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清潔を心がけ、日々こまめな消毒や清掃・換気を行っています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		部屋を仕切ったり、パーティションを利用したりして個別の場所を作っています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		始業前にミーティングを行っています。その日いなかった職員にもわかるよう、連絡ノートで周知するようにしています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		業務の改善や支援する上での参考にしていきます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		支援会議や毎日のミーティングの際に意見を出し合っています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は行っておりませんが、評価結果は改善の参考にさせていただいています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		オンラインでの研修や外部講師による研修のほか、事業所内の支援会議の中でも研修を行っています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		子どもと保護者のニーズを考えながら、必要とすることを取り入れた計画を立てています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		全体の意見を参考にし、常勤職員で検討しながら計画を立てています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		社内の全事業所で統一したアセスメントツールを使用しています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		主に常勤職員で立案していますが、全体の意見も取り入れて行っています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		利用日により、活動内容を変えるなどしています。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		状況を見ながら個別活動と集団活動を組み合わせた計画を立てています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		役割分担しながら打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		振り返りを行い、反省点があった場合や連絡事項等の引継ぎ以外でも細かく共有していくようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎回のケース記録、課題記録を元に支援内容を改善しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		半年毎に職員間で話し合い、見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児発管、常勤職員等常に支援に関わっている職員が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて情報を共有していきます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて情報を共有していきます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		必要時には支援内容の情報共有をしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		連携して、必要に応じて助言や説明を受けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>	事業所以外での交流の機会は殆どありません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		連絡帳で伝え合ったり、送迎時、又は電話にて子どもの状況を伝え合うことで共通理解を持っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		必要と思われる保護者に対しては支援しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		見学時、契約時に説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		別紙にてご本人・ご家族のニーズを確認したうえで作成しています。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		送迎時、お迎え時等に相談を受けた時には迅速に対応しています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>	父母の会の活動はしていません。	今のところ、要望がありません。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>	相談や申し入れがあった場合は迅速に適切に対応させていただきます。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>	毎月おたよりを発行し、活動の様子をお知らせしたり、インスタグラムで情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		行事に地域住民を招待することは難しく、実施したことはありません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>	マニュアルを作成して保護者に配布し周知してもらっています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>	防災週間を設定し、災害についての紙芝居でわかりやすく説明をしたり定期的に避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>	発作時の対処方法など確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>	保護者に確認し、アレルギー表を作成しておやつを提供しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>	安全計画を作成し、施設・設備・事業所外環境の安全点検をした上で研修を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>	「緊急時の事業所対応」を配布し、「取り組み内容の周知とともにクオレだよりにおいて避難訓練の様子を報告しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>	支援会議内にて定期的に研修を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>	身体拘束は行っておりません。身体拘束を行わずに支援する方法を徹底的に検討する体制をとっています。		

公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
----	-------------------

事業所名	児童通所支援センター クオレ月寒
------	------------------

公表日 2025年1月20日

利用児童数 19人

回収数 13

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1		2		スペースとしては狭いですが、活動により空間を分けています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13				去年より細やかに見てくださってるように感じます	個別に対応できるように基準より多く職員を配置しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2				バリアフリーではありませんが、手すりや柵、折り畳み椅子を設置しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	3			一度しか行っていませんが、清潔感を感じなかったようにおもいます	建物が良いですが、清潔を心掛け、こまめな清掃、消毒、換気をしています。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12			1	実際の様子を見てないのでわからないですが、本人は楽しくかよえているのでありがたいです	楽しい居場所となってもらえるようにしていきたいです。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13				頑張ってくださいてるのを感じます	ありがとうございます。全員で同じ方向に向かって行くようにしています。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13				子どもから聞いてるのは自分からいろいろやっているようなので できています	本人の意向を重視しながらも保護者の方の希望に沿うようにしていきたいです。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	2			季節ごとに合わせた活動を考えてくれる	季節の移り変わりを体感しながら活動していきたいと思っています。
保護者への説明等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	2	2	5		外部と交流の機会はありません。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12			1		見学时、契約時に説明を行っています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1			1度目提出ではされた 2度目はただ渡しただけ	配慮に欠け申し訳ありません。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	4	3	2		都度、何か不安があれば相談を受けており、支援につながる提案をしております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	13					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	3	2			必要と思った時に声をかけさせていただいています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	4	6	2		現在のところ、保護者会等の活動やきょうだい同士の交流の機会には設けていません。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		2		相談や申し入れがあった際は迅速に対応するよう心がけています。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		2		クオレ日より、Instagramで活動内容や情報を発信しています。自己評価についてはホームページに掲載しています。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13						
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			5		契約時やコロナ5類移行後、「緊急時の事業所対応」の家庭保存用のマニュアルをお配りしています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			6		防災についてわかり易く認識できるように紙芝居等で説明し、定期的に訓練を実施しています。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			1		安全を第一に考えた支援を行っています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			3	怪我などした事が無いのでわからないです。	事故や怪我があった際は、お子様の状態や安全を第一に速やかに正しく伝達し対応していきます。
満足度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	13					
	29 事業所の支援に満足していますか。	13				なくてはならない存在です。	ありがとうございます。楽しく安心できる場が続けられるよう努めています。

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童通所支援センター クオレ月寒		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 25日		～ 2024年11 月22 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日		～ 2024年 12月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活スキルの向上	おやつ後の食器洗い・洗濯(洗濯機の使い方を覚える)・掃除機がけを日常的に行うことにより、将来的な自立に向けて少しでも自分で出来る力を身に付けられるようにしている。	毎日続けていく中で、生活スキルのほか、宿題が残っている友だちを気遣い、友だちの分も洗っていたり、手荒れをしている友だちの代わりに洗ってあげるなどの思いやりの心が自然と芽生えているのがわかり、今後も続けていきたい。
2	個々に合わせた課題の提供	学習のほか、毎月のカレンダー製作を行っており、それぞれのレベルに合わせた製作工程を準備している。	見本を参考にしながら、徐々に自分なりの発想で手を加え楽しみながら作る子が増えてきた。完成した時には達成感を味わって喜んでいる。皆が楽しんで取り組めるようにしていきたい。
3	挨拶ができる	日ごろから挨拶の大切さを伝え、意識して実践している。言語のないお子さんも、挨拶時には頭を下げるなどしてしっかり相手に伝わっている。	日常的に自然に挨拶ができていると感じている。どんな場所でも出来るよう今後も続けていきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一人(個人)で落ち着ける場所がない。	活動場所が狭い。	仕切り等で一人になり落ち着けるスペースを確保したい。
2	高校生向けの活動が少ない。	個々に取り組む作業的をするスペースがなく、教材も少ない。	系列事業所での見学や研修にて勉強しスキルを身に付けたい。
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童通所支援センタークオレ月寒		令和7年1月20日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	玩具などは学習の妨げにならないよう目に見えないところに置いたり人数が多い時にはスペースを分けて過ごしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		個別対応ができるよう基準より多くの職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		階段の両側に手すり、落下事故の柵、玄関に壁面折り畳み椅子の設置をしています。	バリアフリーではありません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔を心がけ、日々こまめな消毒や清掃・換気を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	部屋がないため、仕切ったところなどで学習したりクールダウンできる場所を作っています。	部屋がありません。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		始業前にミーティングを行っています。その日いなかった職員にもわかるよう、連絡ノートで周知するようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務の改善や支援する上での参考にしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援会議や毎日のミーティングの際に意見を出し合っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行っておりませんが、評価結果は改善の参考にさせていただいています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		オンラインでの研修や外部講師による研修のほか、事業所内の支援会議の中でも研修を行っています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		子どもと保護者のニーズを考えながら、必要とすることを取り入れた計画を立てています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全体の意見を参考にし、常勤職員で検討しながら計画を立てています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内の全事業所で統一したアセスメントツールを使用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		主に常勤職員で立案していますが、全体の意見も取り入れて行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用日により、活動内容を変えるなどしています。	



供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		状況を見ながら個別活動と集団活動を組み合わせた計画を立てています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		役割分担しながら打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		振り返りを行い、反省点があった場合や連絡事項等の引継ぎ以外でも細かく共有していくようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎回のケース記録、課題記録を元に支援内容を改善しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		半年毎に職員間で話し合い、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		本人の意向を重視しながら、意欲的に取り組む遊びや製作活動での表現できる喜びを体験して豊かな感性を養っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児発管、常勤職員等常に支援に関わっている職員が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて情報を共有していきます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		家庭からの連絡の他、学校送迎時に担任と引継ぎ等で情報を共有しています。引継ぎのない学校にはこちらから必ず声掛けしています。	担任（学校）に情報共有のお願いをしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて情報を共有していきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>			必要に応じて情報を共有していきますが、移行した実績がありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		連携して、必要に応じて助言や説明を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			児童館を利用している児童については職員との情報の共有をしています子ども同士の交流の機会はありません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		連絡帳で伝え合ったり、送迎時、又は電話にて子どもの状況を伝え合うことで共通理解を持っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		ペアレント・トレーニングが必要な保護者に対しては行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		見学时、契約時に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		別紙にてご本人・ご家族のニーズを確認したうえで作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		送迎時、お迎え時等に相談を受けた時には迅速に対応しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	父母の会の活動、きょうだい同士の交流の機会は設けていません。	今のところ、要望がありません。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	苦情があった場合は迅速に適切に対応させて頂きます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	毎月おたよりを発行し、活動の様子をお知らせしたり、インスタグラムで情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		行事に地域住民を招待することは難しく、実施したことはありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	マニュアルを作成して保護者に配布し周知してもらっています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	防災週間を設定し、災害についての紙芝居でわかり易く説明をしたり定期的に避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○	発作時の対処方法など確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	保護者に確認し、アレルギー表を作成しておやつを提供しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	安全計画を作成し、施設・設備・事業所外環境の安全点検をした上で研修を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	「緊急時の事業所対応」を配布し、「取り組み内容の周知とともにクオレだよりにおいて避難訓練の様子を報告しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	支援会議内にて定期的に研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	身体拘束は行っておりません。身体拘束を行わずに支援する方法を徹底的に検討する体制をとっています。		